

弘前大学学報



弘前市文京町 人文学部中庭（旧制弘前高等学校記念小庭園）

第 25 号
平成18年 4 月号

学内ニュース

○平成18年度弘前大学入学式告示	弘前大学長 遠藤正彦	1
○平成18年度弘前大学大学院入学式告示	弘前大学長 遠藤正彦	5
○平成18年度弘前大学入学式を挙行	-----	8
○「えどがわ農業産学公プロジェクト」を発足	-----	9

学 事

○学内紀要	-----	10
○外国出張	-----	10

諸 会 議

-----	12
-------	----

人 事

○新任部局長等紹介	-----	15
○新任部課長紹介	-----	15
○新任教授紹介	-----	16
○人事異動	-----	16

主要日誌

-----	25
-------	----

学内規則

-----	26
○ 国立大学法人弘前大学公益通報処理規程の制定	
○ 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正	
○ 弘前大学学則の一部改正	
○ 弘前大学人文学部規程の一部改正	
○ 弘前大学教育学部規程の一部改正	
○ 弘前大学医学部規程の一部改正	
○ 弘前大学医学部教授会規程の一部改正	
○ 弘前大学大学院医学系研究科規程の一部改正	
○ 弘前大学理工学部規程の一部改正	
○ 弘前大学農学生命科学部規程の一部改正	
○ 弘前大学大学院地域社会研究科規程の一部改正	
○ 国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程の一部改正	
○ 国立大学法人弘前大学保有個人情報開示等手続規程の一部改正	
○ 国立大学法人弘前大学放射線安全管理規程の一部改正	
○ 弘前大学医学部長候補者選考規程の一部改正	
○ 弘前大学医学部教員選考規程の一部改正	
○ 弘前大学医学部附属病院規程の一部改正	
○ 弘前大学農学生命科学部放射性同位元素実験室放射線障害予防規程の一部改正	
○ 弘前大学遺伝子実験施設放射線障害予防規程の一部改正	
○ 弘前大学アイソトープ総合実験室放射線障害予防規程の一部改正	

- 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正
- 国立大学法人弘前大学職員就業規則の一部改正
- 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則の一部改正
- 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学役員給与規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学契約職員等給与規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学職員退職手当規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学役員退職手当規程の一部改正
- 弘前大学名誉教授称号授与規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間，休暇等に関する規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学旅費規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学業務災害補償規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学教員の資格，任免，分限及び懲戒に関する規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学職員勤務評定実施規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学大学院修学休業規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学職員の区分，種類及び職名に関する細則の一部改正
- 国立大学法人弘前大学期末手当，勤勉手当及び期末特別手当支給細則の一部改正
- 国立大学法人弘前大学外国人教師の契約手続等細則の一部改正

告 辞

弘前大学長 遠 藤 正 彦



春の遅い津軽にも雪融けが進み、木々の芽吹きによって枝も霞んで見えるようになり、春の到来を告げております。その春の到来に合わせて、ここ弘前市民会館で平成18年度弘前大学入学式を挙げることは、教職員一同の大きな喜びであります。皆さん、弘前大学入学おめでとうございます。将来に対しての輝かしい目を持った諸君を、心から歓迎します。そして保護者・御家族の皆様にもお祝いを申し上げます。弘前大学は社会に対して本学の卒業生の質の保障をすると明言しております。大学もその方向に向かって努力致しますので、保護者・御家族の皆様にも御支援をお願い致します。

本年度の入学式から、式場に保護者の皆さんもご出席できるように致しました。しかし、この式場の収容人数の都合から、入学式を2分して行うこととしました。今この会場は、新入生及び保護者の皆さんが入場されています。

さて、皆さんがこれから学ぶ弘前大学について、少々お話致しましょう。皆さんの入学した弘前大学は、札幌と仙台の間に位置する北東北の中核都市・弘前市にあります。この弘前大学は、人文学部、教育学部、医学部、理工学部及び農学生命科学部の5学部から成り、学問の基礎的領域をすべてカバーする北東北唯一の中規模総合大学であります。

それぞれの学部の歴史は長く、人文学部と理工学部は旧制弘前高等学校を前身に創立以来86年、農学生命科学部は旧文理学部内の農学科を前身に創立以来51年、医学部は青森医学専門学校を前身に創立以来62年、教育学部は最も古く、明治9年創立の青森県師範学校を前身として創立以来今年で実に130年になります。このため、本年9月30日に教育学部創立130周年記念式典が開催される予定であります。

本学は、以上のことから、それぞれ長い歴史と伝統を持った学部から構成された総合大学と言えます。皆さんもこれから学ぶ弘前大学の歴史と伝統を十分に認識し、誇りをもって学んで欲しいと念願致します。

ここで我弘前大学の自信と誇りの拠所となる本学の先輩の方々の活躍の一端にふれ、その精神が今に引き継がれて、弘前大学の特徴の一つとなっていることを御紹介致します。

本学教育学部は先程お話ししたように、明治9年の青森県師範学校創立以来130年経過しており、その間当然のことながら、その卒業生の大部分は、小学校・中学校を中心とした教員として活躍してきました。その他にも教育以外の文化・芸術、出版等の領域に携った方も多数おりました。その中から、我国の出版界に重要な影響を与えた方をお二人紹介致します。

皆さんは漫画が大好きだと思います。以前は漫画は遊びの分野でありましたが、今ではアニメーションとして芸術文化の一ジャンルを形成するまでに至り、若者に深い人気があります。

その漫画の中で、『鉄腕アトム』や『ジャングル大帝』の漫画作家・手塚治虫を育て世に送り出した人は誰かの問いに、それは今は亡き加藤謙一さんという人で、その人は本学の前身青森師範学校の卒業生で、我々の先輩だと知って驚くことでしょう。更にこの加藤さんが、漫画『サザエさん』の長谷川町子、『オバケのQ太郎』の藤子不二雄を世に送り出した人と聞いてもっと驚くでしょう。つまり今流行の漫画の原点に、我々の先輩加藤謙一さんがいるのです。更に驚くことに、津軽出身の著名な作家・佐藤紅緑を児童文学の道へ歩ませたのもこの加藤謙一さんです。



加藤謙一さんは、明治29年(1896年)弘前市に生まれました。中学校、それは現在の青森県立弘前高等学校ですが、そこを卒業して市内の小学校で代用教員をしていましたが、まわりの多くの人の支援により、本学教育学部の前身青森師範学校に入学し、そこを卒業しました。卒業後弘前市内の小学校教諭をしていましたが、そこで今でいう児童向けのガリ版刷りの雑誌を作っているうちに、日本中に向けた児童雑誌を作ろうと周囲の反対を押し切って上京しました。上京した加藤さんは、一時小学校の代用教員をして機をうかがっていましたが、ある方の紹介で「講談社」に採用になりました。そこでの仕事でたまたま加藤さんのガリ版刷りを見た社長があまりのきれいに驚いて、入社一ヶ月半の加藤さんを少年倶楽部の編集長に抜擢しました。時に加藤さんはまだ25歳でした。

その後加藤さんは、前述のように当時作家として名を成していた著名な作家・佐藤紅緑に名作『ああ 玉杯に花うけて』を書かせ、佐藤紅緑に児童文学の作家としても名を成さしめるに至ったのは、後の世にも語られる有名な話であります。

その編集長として、漫画『のらくろ』や『冒険ダン吉』の作家田河水泡を掘り起こしました。その後、種々と、漫画や児童文学を発展させましたが、終戦により公職追放となりました。そこで加藤さんは東京神田の自宅に「学童社」という会社を興し、ここから『漫画少年』という漫画雑誌を発行しました。終戦直後のことで勿論食糧難、物質不足、また雑誌を印刷する紙にも苦勞する状態でした。しかも、加藤家の子供も総出で漫画少年作りにかかりましたが、初めは漫画少年も売れず返本の山であったとのことあります。ようやく漫画少年も売れるようになり、この漫画雑誌の刊行を続けている中で、医学の道へ進むか漫画家になろうかと迷っていた手塚治虫に出会い、その天才的才能を見抜いて漫画への道を進ませたのは加藤さんでした。同様に長谷川町子の『サザエさん』が朝日新聞に25年掲載される前は、加藤さんに発掘され漫画少年に掲載されておりました。そしてこの「漫画少年」を通じて、漫画ファンなら誰でも知っている『オバケのQ太郎』や『ドラえもん』の藤子不二雄、『仮面ライダー』や『サイボーグ009』の石ノ森章太郎、『おそ松くん』や『天才バカボン』の赤塚不二夫を世にお送り出すことになりました。

漫画少年は、ほのぼのとした明るい漫画が目標でしたが、漫画の世界が刺激の強いアクション漫画に変わっていったことで終に廃刊に追い込まれました。しかも加藤さんの漫画は、漫画でも教育的な要素にこだわり、明るい健全な漫画をめざしていたことが、時の流れには、かなわなかったものと思われます。加藤さんはその後、再び講談社の顧問に就任し、これを長く勤められ、1975年6月30日79歳でご逝去されました。しかし我国における漫画の名作家、名漫画の数々を生み出した名出版者・名編集者として、漫画雑誌・児童文学へ残した功績は大きいものでした。

次に弘前大学教育学部の生んだもう一人の名出版者・名編集長をご紹介します。その方は、田村勝夫さん、サイマル出版会会長として日本の出版界には珍しく、国際的な視野に立って自らの発言主張を天下に広げる役割を果たした方であります。

田村さんは昭和4年、今でこそ弘前市ですが、世界自然遺産白神産地のふもとの東目屋で生まれました。幼い頃から神童といわれていましたが、大学に進学する余裕がなかったので本学教育学部の前身青森師範学校に入学しました。折りしも、第2次世界大戦の最中、学徒動員ということで授業は行われず、青森県のむつ湾にあった大湊の海軍軍港で勤勞奉仕をしていました。このため、昭和20年の青森市の大空襲の難を逃れました。終戦、母校・青森師範学校は戦災で焼失したので、青森師範学校は弘前市に移り、現在は弘前城公園内の植物園となっているところにあった旧第八師団の武器倉庫が校舎とな

り、授業が再開されました。この時、後に青森師範学校と共に、新制弘前大学をつくることになる青森医学専門学校、後の医学部も、戦災に遭って弘前市に移転してきました。

そして、昭和24年5月31日の旧制弘前高等学校、青森師範学校、青森青年師範学校、青森医学専門学校、弘前医科大学からの新制弘前大学の設置のために、田村さんは学生の代表の一人として陳情にかけまわりました。しかしこの新制弘前大学の発足の前に卒業となりました。そして県内の教員の辞令を受けたにもかかわらず、それを返上して上京しました。時に昭和23年、19歳でした。



戦後の復興もままならない東京で、田村さんは文京区の小学校の先生となりましたが、生来の津軽弁を理解されないで苦労もあったようでした。この小学校時代に、学際的研究団体に通い、そこで、後に 我国の言論界を牽引することになる若い思想学者たちと知り合いになりました。この後、教員を辞し、団体職員をしていましたが、過労から結核にかかり闘病生活を送りました。幸い回復して大手学術出版社・弘文堂に入社しました。ここで37歳までの9年間編集長として活躍し、特に『ウォーレン報告』を翻訳した『ケネディー暗殺の真相』、ソレンセンの『ケネディの道』は爆発的売上げを示しました。

弘文堂の倒産により独立し、昭和42年38歳でサイマル出版会を創立しました。以来、田村さんは、経営者と編集者の両方の手腕を発揮し、30年間に時代の先を読む内外の本、総計1200冊以上の出版を行いました。その中にはブレジンスキー『ひよわな花・日本』、ハーマン・カーン『それでも日本は成長する』、マンسفールド米大使の『日本ほど重要な国はない』など、一世を風靡した名著が多数あります。

田村さんは、「本づくりは国づくり」という強い思いを持っていました。そこで世界各国のすぐれた本を企画選別し、問題性を提起することにより、それらの国々のかけ橋になろうと考えて実行したと、田村さんの評伝に書かれています。しかし残念ながら、平成9年経済不況の影響で解散に追い込まれました。我国の出版界にサイマル出版会解散という驚愕の戦慄が走りました。これでくじけぬ田村さんは、30年間に刊行されたすべてのサイマル本・1126点を2冊ずつ出身地であるこの弘前市立図書館に寄贈しました。1冊は地下の倉庫で永久保存、1冊はサイマル出版特設コーナーを設けて市民に貸し出されています。

田村さんは今なおご健在で、私は毎年弘前市在京関係者交流会でお会いしています。小柄ですが声は張りがあって響きがあり、思慮深いおだやかな眼をして静かに話を聞かせてくれます。

私は今、我国の出版界に大きな足跡を残されたお二人の本学の先輩を御紹介致しました。このお二人は、いずれも本学教育学部の前身青森師範学校の出身で教育者であり、その教育の延長上にある出版に携わり「漫画による教育」「本づくりは国づくり」をめざした方々であります。このような方々が、本学から生まれたことを誇りに思います。皆さんにも、本学の誇りの一つを受け留めていただきたいと思います。

本学にも一昨年、国立大学法人化と期を同じくして、先輩方の出版に対する精神を受け継ぎ弘前大学出版会が設立されました。東北・北海道地方では東北大学、北海道大学に次いで3番目の出版会設立であります。設立時、大学出版事業に詳しい方々には、弘前大学の出版会は、出版会としてかなり困難ではないかと予想していました。しかし、本学は冒頭にもお話した通り、文系・理系の5学部からなり、学問の基礎のすべての分野をカバーしている総合大学ですので、教員の層が厚く、また学問の領域が幅広いことから、十分出版は継続されると私はみていました。約2年を経過しようとしている今、私の予想以上の成果を挙げ、今迄に15冊の様々な領域の本が刊行されました。それは真下正夫編集委員長以下の編集委員の努力によるもので、学長として敬意を表しています。そして出版会の下で、いよいよ本学教員による本学学生のための本格的教科書作りの作業が始まりました。

尚、これまで出版会で出版された書籍の中には、現役の学生諸君の手になる出版もあ



り，諸君にもこれからの在学中，自らの著作による本の出版は現実的に可能であることをお伝えします。

諸君のこれからの大学での生活は，本学の歴史と伝統，そして優れた先輩達を心の拠り所として，学業と課外活動に励み，卒業時には幅広い教養と優れた専門の基礎を身につけ，健康で人間性豊かな社会人として巣立てるよう努力することを切に希望します。

諸君にとりましては，この歴史と伝統のある弘前大学で学生として4年または6年の充実した大学生活を送られるよう念願して，告辞とします。

平成18年 4 月 4 日

告 辞

弘前大学長 遠 藤 正 彦



春の到来を実感する今日ここに、弘前大学大学院に入学する279名の学生諸君を迎え大学院入学式を挙げることは、弘前大学にとりまして大きな喜びであります。諸君弘前大学大学院入学おめでとう。

この大学院での学習と研究は、諸君の将来の方向を決定付けるという点で極めて重要であります。この大学院で専門性の高い知識と思考力、社会へ出てからのリーダーとしての素質、そして幅広い豊かな人間性を身につけられるように

希望します。弘前大学は、そのような意欲ある諸君を期待と緊張をもって迎えます。

ところで諸君は、この4月1日より、我国の第3期科学技術基本計画がスタートしたことを新聞等でご存知のことと思います。我国における少子高齢化、少資源、そして我国を取りまく中国・韓国の台頭とブラジル・ロシア等のBRICs諸国の成長は、我国が科学技術創造立国としての独自の国家戦略を、持たなければならないことを示しております。平成8年からの第1期、平成13年からの第2期に続いて、3日前の平成18年4月1日より第3期科学技術基本計画が、投資目標25兆円を持ってスタートしました。

諸君は、この第3期科学技術基本計画スタートの時期と丁度一致して、弘前大学大学院に入学しました。その科学技術基本計画は、これから5年間の我国の科学技術創造立国としての基本戦略を示しておりますが、その中の戦略の一つとして、社会のニーズに対応した人材の必要性から、我国の大学院教育の改革を求めています。それは、人口減少や国際競争の激化などの新たな条件の下で、我国の人的発展基盤を確立するため、高度な人材養成の中核にある大学院の、教育の質を抜本的に改革する必要があるということです。

したがって、本学の大学院もこのような人材養成目標に従って、大学院教育を質的に変えていく必要があります。幸い本学では、大学院を中心とした研究の質的向上をめざして様々な方策を講じてきたところでもあります。そこで本学の大学院を中心とした研究の現状をお話ししましょう。

弘前大学は、ここ数年間に研究の主力となる大学院の整備が進み、昨年4月大学院医学系研究科保健学専攻の設置により、全学の各学部学科に大学院が直結したことになりました。そしてそれより以前の平成14年、全国的にも例の少ない文系・理系融合の独立研究科である大学院地域社会研究科も設置されており、大学院としての完成度が高くなりました。このことにより、大学院各研究科相互の連携も進んできたところでもあります。

また、本学の研究の方向は、国立大学法人化の際、本学の申請に対して文部科学大臣の認可した中期目標・中期計画の中に、第1に国際的レベルにある研究、第2に先見性ある基礎的研究、第3に地元地域社会に貢献する研究の3点を、重点的に推進すると明記してあります。

本学では、これを強力に推進するため学長指定重点研究として審査により指定された研究に、研究費を重点的に配分してきました。

そしてその重点研究を組織化し強力に推進する意味で、旧国立大学当時から文部科学省の予算措置をうけて設置されていた遺伝子実験施設、総合情報処理センター、教育実践総合センターや脳神経血管病態研究施設等の大学附置・附属の研究施設の他に、各学部ごとに、研究の中核となり大学院教育を支援する小規模の施設・センターを設置しました。

それは、人文学部に雇用政策研究センターと亀ヶ岡文化研究センター、教育学部に国際音楽センター、特別支援教育センターと経済教育センター、医学部医学科に循環器病研究センター、がん診療・研究センター、社会医学センターと移植医療研究センター、医学部保健学科にすこやかコミュニティ支援センターと看護職者教育力開発支援センター、理工学部に進進医用システム開発センター、液晶材料研究センター、自然エネルギー研究センターとテラヘルツ応用工学研究センター、農学生命科学部に白神山地有用資源研究センター、りんご振興研究センター、未利用バイオマス研究センターとRNA研究センター、合計19研究センターが設置され、それぞれ本学の研究の中核であり、そして本学の特徴を表わす研究として、活発に活動が展開されております。



更に大学全体としての研究推進を支援するものとして、図書館は新しいスタイルをめざしての充実を進め、また、機器分析センターは少ない予算の中からも学内共同利用の大型研究機器の導入を続け、更に弘前大学出版会は、本学教職員の研究成果を公表するための図書出版を行うため設立され出版を重ねてきました。

特に最近もう一つのめざましい研究の動きがあります。その一つは、秋田大学、岩手大学と本学が進める「北東北国立三大学連携推進研究プロジェクト」が組織され、三大学の協力による文系理系の合計11項目に渡る共同研究が開始されたことであります。それに加えて大学院医学系研究科医科学専攻は、秋田大学大学院医学研究科と合同で学位論文の審査を進めるようになりました。こうしたことにより、北東北三大学のそれぞれの優れた特徴を合わせ、一層の研究推進が期待されるようになりました。

これらの結果、弘前大学大学院を中心とした研究のレベルは、確実に上昇してその成果を挙げてきました。本学の国立大学法人化後の一連の研究態勢の整備と研究推進の状況は、この3月末に刊行されました『弘前大学研究推進白書』の中に明記されております。

このような本学大学院の整備が進んできた結果、本学の大学院学生の研究が次々と国際的ジャーナルに掲載されて、また、学会賞等を受賞するようになりました。弘前大学の大学院を中心として、研究が確実な前進の歩みを示している証だと思えます。

そこで、本学の大学院学生の研究活動の一端を御紹介致しましょう。本学には学部、大学院学生の優れた課外活動、ボランティア活動、研究活動等を、推薦に基づき学長が表彰する学生表彰制度があります。そして優れた研究成果を挙げた学生に対し、平成16年度は6名、平成17年度は2名の学生が表彰されております。その中の2名の大学院学生を御紹介致しましょう。そのことにより諸君も大学院生活の参考にもなり、励みにもなり、そして目標にもなると思えます。

その学生は、大学院理工学研究科博士後期課程3年在学中の山口章久君と、昨年3月同じく理工学研究科博士前期課程を修了し現在企業に勤務中の六戸樹理さんです。

まず山口章久君から紹介致しましょう。山口君は、青森県立弘前高等学校卒業後、平成10年（1998年）当時理学部から改組されたばかりの理工学部の物質理工学科一期生として入学しました。そして学部4年で当時、企業の研究所から本学の教授として招へいされて間もない、理工学部物質理工学科機能素材工学講座の吉澤篤教授の下に配属になりました。吉澤教授は、液晶材料の研究の専門家で、同君はここで液晶についての研究の指導を受けました。液晶とは文字通り液体と結晶の性質を合わせ持った物質のことで、テレビ、パソコン、携帯電話等のディスプレイに利用されているものです。

山口君は吉澤教授の言によれば、配属当時は一般の学生と変わらない様子でしたが、ある時俄然この液晶に興味を持ち、自分の卒業論文のテーマに打ち込み始めました。それは、正に寝食を忘れての実験であり、また自ら興味をもって指導教員の吉澤教授と討論を重ねました。その結果、液晶に関する卒業論文をまとめ、それが2つの論文として

いずれも国際誌に投稿され受理されました。

同君は、平成14年（2002年）本学大学院理工学研究科修士課程の入学試験を1番で合格し、同じく吉澤教授の下で研究を継続しました。この修士課程在学中に日本液晶学会討論会において、優れた研究内容をもつポスターに対して贈られるポスター賞・虹彩賞を受賞しました。修士論文は、自らの名前がファーストオーサーとなる2篇の英文論文として、国際誌に掲載されました。そのうち一篇国際誌J. Mater. Chem. の掲載号の裏表紙inside coverには、同君の研究内容が掲載されました。このことは同君の研究がその学会編集委員会から非常に高く評価されたことを意味し、大変名誉なことでもあります。

山口君が修士課程1年の時、私がもう一人紹介したいとした六戸樹理さんが、同じ研究室に入ってきました。六戸さんは青森県立青森高等学校の出身で、山口君の1年後輩として吉澤教授の下に配属となり、山口君に実験の手ほどきを受けながら、卒業研究を行うことになりました。そこで六戸さんもめきめきと頭角を現し、実験に没頭するようになりました。六戸さんも液晶に関して卒業論文を提出し、その内容は国際誌に掲載されました。そして、大学院修士課程に進み研究を続け、更にすばらしい研究成果をあげ、いずれも国際誌に論文を発表しました。この山口君と六戸さんの優れた研究活動に対して、平成16年度弘前大学学生表彰で一緒に表彰されました。

今、山口君は本学大学院理工学研究科博士後期課程に在学中で更に研究を続け、六戸さんは就職し県内企業で研究に従事しています。

若いこの両君の研究の展開をみると、まず研究を行うという動機付けが吉澤教授によってしっかりとされたこと、そしてしっかりした研究指導のあったことが一つの重要なポイントと思われます。

そして、両君は、その研究に強い興味を持ち、その興味が研究を続けるという強い意志に結びついたものと思われます。そしてもう一つ重要なことは、この吉澤教授の研究室は、山口、六戸両君の2名のみならず、同じように研究を共に進めていくという同じ方向を向いた仲間が多数いて、互いに切磋琢磨していたであろうということです。私の経験からも、研究者は時には研究の壁にぶつかりスランプに陥ることがあります。この壁を破るのは研究仲間とのディスカッションです。その意味で吉澤研究室というすばらしい研究環境も、極めて幸いしていたと思われます。そして、地方大学大学院、特に本学大学院にとりましては、指導教員と少人数の学生とが、共に課題にアプローチしディスカッションすることが可能であることに重要な意義と特徴があります。山口、六戸両君の研究の生活が、これからの諸君の大学院における研究生活の参考になるだろうと思われます。

恐らく吉澤教授の研究室も、ご多聞にもれず必ずしも研究機器機材は十分ではないと思われます。また本学そのものも、中央の大学との埋めようのない大学間格差の中にあります。しかし、研究の世界はアイデアの勝負であり、根気の勝負であると信じます。したがって、研究上で世界の舞台に躍りでるチャンスは諸君ひとりひとりにあります。それには中央・地方の差はありません。しかも我国は第3期科学技術基本計画のスタート直後であり、前述のように我国はこれから科学技術の発展を更に強力に押し進めようとし、そして新しい人材を求めています。文系理系を問わず若い研究者諸君にとっては、己を売り出すまたとないチャンスではありませんか。幸い本学の大学院も前述のようにその研究環境の整備が進んできています。諸君はこれらを十分に利用し、そして自分の力を十二分に発揮して、これから大いに活躍することを期待しております。

終わりに、この弘前大学が、大学院学生の諸君らと教職員との研究者集団が、共に力を合わせ、北東北の研究の拠点大学として世界に光りを放てるようになることを強く念願して、告辞と致します。

平成18年 4 月 4 日

平成18年度弘前大学入学式を挙

～学部・大学院学生ら1,755名が入学

附属学校園でも入学式を挙

4月4日（火），弘前市民会館において平成18年度弘前大学入学式が行われました。各学部の新入生らを迎え，厳かに挙行されました。

今年度から二部制となり，保護者の方もホール内に入場可能となり，第1部（人文，教育学部）が10時30分から，第2部（医，理工，農学生命科学部）が13時から挙行されました。

式典は，これからの大学生活に期待を膨らます新入生やその保護者の方々が待ち受ける中，遠藤学長の入学式告辞で始まりました。続いて，新入生代表による学生宣誓，部局長，役員及び来賓の紹介があり，最後に本学名誉教授の安達弘潮先生の指揮のもと，弘前大学フィルハーモニー管弦楽団及び弘前大学混声合唱団による「弘前大学学生歌」が演奏され，晴れの式典が終了しました。

当日はあいにくの雨模様となったものの，市民会館前の駐車場では，記念撮影する保護者やサークルへ勧誘しようと様々な趣向を凝らして集まった学生等で，いつもの賑やかな歓迎風景が見られました。

また，弘前大学大学院入学式は，同日9時から創立50周年記念会館みちのくホールにおいて，教育学部附属学校園の入学式・入園式は，中学校が4月6日（木）小・養護学校が4月7日（金），幼稚園が4月11日（火）に各学校園においてそれぞれ執り行われました。

今年度の入学者数は，次のとおりです。

○学部（1,405名）

人 文 学 部	354名
教 育 学 部	259名
医 学 部	284名
理 工 学 部	321名
農 学 生 命 科 学 部	187名

○3年次編入学（71名）

医 学 部	42名
理 工 学 部	14名
農 学 生 命 科 学 部	15名

○大学院（279名）

人文社会科学部	15名
教育学部	34名
医学系研究科保健学専攻	26名
医学系研究科医科学専攻	35名
理工学研究科博士前期課程	101名
理工学研究科博士後期課程	5名
農学生命科学研究科	53名
地域社会研究科	10名

○附属学校園（373名）

小 学 校	118名
中 学 校	200名
養 護 学 校	17名
幼 稚 園	38名



「えどがわ農業産学公プロジェクト」を発足

本学は、江戸川区役所、江戸川区農業経営者クラブ、江戸川花卉園芸組合との間で、平成18年4月21日タワーホール船堀で調印式を行ない、江戸川区特産の小松菜・花卉などの研究を行ない江戸川区農業の活性化を図るプロジェクトを発足させました。

今回の調印は、平成18年8月から、加藤理事（前地域共同研究センター長）が中心となり、東京都江戸川区と農業系の連携について意見交換を重ねてきた結果、平成18年度から共同研究を開始することがきっかけとなったものです。

調印式において、遠藤学長より「江戸川区の小松菜，花卉園芸を研究することによって私達も相当学ぶところがあり，今回のプロジェクトで新たな道ができることを大いに期待している。」と抱負が語られました。また，多田江戸川区長より「農業分野の研究で成果を上げている弘前大学の協力を得られて心強い。」，石川江戸川区農業経営者クラブ会長より「将来的に生で食べられる小松菜にしたい。」，稲毛江戸川花卉園芸組合長より「新しい発見，新しいものの誕生を確信している。」とそれぞれ期待と要望などが語られました。

調印式前日（20日）には，加藤理事を始めとする同プロジェクトの研究者が小松菜を栽培する農地を訪れ，農業経営者から説明を受け意見交換を行ないました。



調印式代表者



小松菜農地にて

学内紀要

医学部の研究紀要が、次のとおり刊行されました。

- 弘前医学 第57巻 第2-4号 (2006年3月31日発行)

外国出張

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
教授 (人文)	奥野 浩子	韓国語研究のため、「延世大学校短期留学コース」参加	大韓民国	18. 3. 3) 18. 3. 26
助教授 (人文)	李 梁	2006ソウル高麗大学国際シンポジウム「漢字訳語と漢字文化圏諸言語の近代語彙の形成」参加 東アジアにおける漢訳西学書の成立、伝播その影響に関する思想史的研究のための資料調査等	大韓民国	18. 3. 17) 18. 3. 22
教授 (人文)	カーペンター, ビクター, リー	「WTO, グローバリゼーションとリンゴ」等, 調査研究の打ち合わせ・資料収集及び実態調査を行うため 学会: Association for Asian Studies に参加	アメリカ合衆国	18. 3. 25) 18. 4. 11
助教授 (教育)	福島 裕敏	シンポジウム「日本の教育と社会における今日的課題」およびアメリカ教育学会への出席	アメリカ合衆国	18. 4. 6) 18. 4. 13
助教授 (教育)	秋葉まりこ	ICAFT 国際学会発表	オーストラリア	18. 4. 7) 18. 4. 14
教授 (医)	鬼島 宏	97th Annual Meeting 2006出席及びワシントン大学にて癌免疫療法の臨床病理学的解析に関する研究打合せ	アメリカ合衆国	18. 3. 31) 18. 4. 7

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
助教授 (医)	欠畑 誠治	第11回日韓耳鼻咽喉科学会出席	大韓民国	18. 4. 6 ～ 18. 4. 8
講師 (医)	島村 則人	ロマリンダ大学にてクモ膜下出血診療についての研究打合せ及び2006AANS Annual Meeting出席	アメリカ合衆国	18. 4. 20 ～ 18. 4. 26
教授 (医)	佐藤 公彦	アメリカ癌学会2006年度年会出席及び演題発表	アメリカ合衆国	18. 4. 1 ～ 18. 4. 6
助教授 (理工)	片岡 俊一	サンフランシスコ地震100周年記念会議に参加	アメリカ合衆国	18. 4. 17 ～ 18. 4. 23
助手 (理工)	堀内 一穂	第19回放射性炭素国際会議にて, 科研費研究課題の成果発表	連合王国	18. 4. 2 ～ 18. 4. 9

■ 諸 会 議

▼役員会

4月3日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学役員給与規定の一部改正について
- 2 その他

報告事項

- 1 理事の職務分担について
- 2 平成18年度戦略的経費について
- 3 平成18年度会計監査人の選任について
- 4 「弘前大学鷹揚さくら会」の設置について
- 5 その他

4月10日（月）

審議事項

特になし

報告事項

- 1 平成17年度内部監査（臨時監査）結果への対応について
- 2 各省庁等競争的資金について
- 3 その他
 - (1)人事苦情処理室室員の交替について
 - (2)監査室室員の交替について
 - (3)部局長等の病気休暇について

4月17日（月）

審議事項

- 1 北東北国立3大学連携協議会委員及び専門委員会委員について
 - (1)北東北国立3大学連携協議会委員について
 - (2)北東北国立3大学連携協議会課題別専門委員会委員について
 - (3)北東北国立3大学連携協議会分野別専門委員会委員について
- 2 平成18年度戦略的経費について

報告事項

特になし

4月24日（月）

審議事項

- 1 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書（素案）について

報告事項

- 1 各学部学長説明会について
- 2 平成17年度戦略的経費について
- 3 平成17年度学内活性化事業推進経費について
- 4 科学研究費補助金の申請・採択状況について
- 5 その他

▼教育研究評議会

4月11日（火）

審議事項

- 1 人事苦情処理室室員の推薦について

報告事項

- 1 平成18年度年度計画について
- 2 教員人事について
 - (1) 教員の採用・昇任
- 3 平成18年度予算実施計画について
- 4 平成17年度戦略的経費について
- 5 平成17年度学内活性化事業推進経費について
- 6 平成18年度弘前大学入学者選抜個別学力検査実施結果について
- 7 弘前大学キャンパスマスタープランについて
- 8 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育・学生委員会
 - (3) 臨時入学試験改善委員会
- 9 その他
 - (1) 国立大学法人弘前大学公益通報処理規程の制定について
 - (2) 急性アルコール中毒防止のポスターの掲示等について
 - (3) 学位記についての要望
 - (4) 入学式についての要望
 - (5) 次回以降の開催予定日について

▼教育・学生委員会

4月26日（水）

議 題

- 1 教育・学生委員会の運営について
- 2 今後の「授業改善計画書」の取扱いについて
- 3 今後の「学生担任制度」の取扱いについて
- 4 平成19年度学年歴について
- 5 「学生による授業評価アンケート」の公表等について
- 6 平成18年度インターンシップ実施日程（案）について
- 7 平成18年度入学者選抜方法調査研究報告書の作成について
- 8 高等学校訪問の実施体制について
- 9 その他
 - (1) 平成17年度企業等アンケート集計結果について

報告事項

- 1 平成18年度公開講座「高・大連携高校生セミナー」受講者について
 - 2 平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」及び「特色ある大学教育支援プログラム」の申請について
 - 3 平成18年度入学料免除者の決定について
 - 4 東北地区国立大学法人学生課長会議について
 - 5 平成18年度体力・運動能力調査の実施について
 - 6 大学院第一種奨学金返還免除候補者の推薦について
 - 7 その他
 - (1) 大学案内「弘前大学 2007」の作成について
-

▼21世紀教育センター運営委員会

4月27日（木）

報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
 - (3) 21世紀教育センター編集委員会
- 3 教育・学生委員会報告
- 4 科目主任報告
- 5 その他の報告

審議事項

- 1 平成18年度開講計画の変更について
- 2 平成18年度前期開講時の対応について
- 3 21世紀教育科目における「入学前の既修得単位認定」に関する申合わせの一部改正について
- 4 その他

新任部局長等紹介



理事

ミウラ ヤスヒサ
三浦 康久

三浦青森県健康福祉部長が、平成18年4月1日付けで理事(社会連携・情報担当)に発令されました。



監事

アベ マサキ
安倍 政幸

安倍青森日本信販(株)取締役社長が、平成18年4月1日付で監事に発令されました。



教育学部附属教育実践総合センター長

イトウ シゲル
伊藤 成治

伊藤教育学部教授が、平成18年4月1日付けで教育学部附属教育実践総合センター長に発令されました。



教育学部附属小学校長

ホンマ マサユキ
本間 正行

本間教育学部教授が、平成18年4月1日付けで教育学部附属小学校長に発令されました。



教育学部附属幼稚園長

ウエスタホーベン・ヤコバス・ニコラース
WESTERHOVEN.J.N.

WESTERHOVEN.J.N.教育学部教授が、平成18年4月1日付で教育学部附属幼稚園長に発令されました。



医学部附属病院長

ハナダ カズミ
花田 勝美

花田医学部教授が、平成18年4月1日付けで医学部附属病院長に発令されました。



遺伝子実験施設長

サノ テルオ
佐野 輝男

佐野農学生命科学部教授が、平成18年4月1日付けで遺伝子実験施設長に発令されました。



農学生命科学部附属生物共生
教育研究センター長

シバヤ チョウセイ
渋谷 長生

渋谷農学生命科学部教授が、平成18年4月1日付けで、同学部附属生物共生教育研究センター長に発令されました。

新任部課長紹介



学術情報部長

スガタ ヨシマサ
諏訪田 義実

諏訪田東北大学附属図書館総務課長が、平成18年4月1日付で本学学術情報部長に発令されました。



医学部附属病院事務部長

サトウ マサル
佐藤 優

佐藤北海道大学病院医事課長が、平成18年4月1日付けで、本学医学部附属病院事務部長に発令されました。



財務課長

オグラ ミツキ
小椋 光喜

小椋豊橋技術科学大会計課長が、平成18年4月1日付けで本学財務課長に発令されました。



学生課長

ナラオカ ヤスノリ
奈良岡 康則

奈良岡岩手大学学務部学生支援課長が、平成18年4月1日付で本学学生課長に発令されました。



入試課長

フジワラ ハジメ
藤原 昇

藤原八戸工業高等専門学校学生課長が、平成18年4月1日付で本学入試課長に発令されました。



契約管理課長

クロキ イサオ
黒滝 勲

黒滝財務部財務課課長補佐が、平成18年4月1日付けで契約管理課長に発令されました。



留学生課長
ツボ ケンジ
坪 憲二

坪総務部総務課課長補佐が、平成18年4月1日付で留学生課長に発令されました。



教育学部事務長
サトウ マサヒコ
佐藤 正彦

佐藤理工学部事務長が、平成18年4月1日付で教育学部事務長に発令されました。



理工学部事務長
キョウノ ヨシオ
京野 義雄

京野契約管理課長が、平成18年4月1日付けで理工学部事務長に発令されました。

新任教授紹介



教育学部
ミヤザキ シュウイチ
宮崎 秀一(専攻:法律学)

宮崎教育学部教授が、平成18年4月1日付で、同学部教授に発令されました。



教育学部
キタハラ ハルオ
北原 晴男(専攻:科学)

北原教育学部助教授が、平成18年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。



教育学部
ヒダノ ヌタカ
肥田野 豊(専攻:栽培)

肥田野教育学部助教授が、平成18年4月1日付で、同学部教授に発令されました。



理工学部
ワタナベ タカフミ
渡辺 孝夫(専攻:物性物理学)

渡辺日本電信電話株式会社フォトニクス研究所 主任研究員が、平成18年4月1日付けで、本学理工学部教授に発令されました。

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18.4.1		諏訪田 義美	部長(学術)
18.4.1		佐藤 優	事務部長(病)
18.4.1		小椋 光喜	財務課長(財務)
18.4.1		奈良岡 康則	学生課長(学務)
18.4.1		藤原 昇	入試課長(学務)
18.4.1		川村 健純	一般職員(医)
18.4.1		坂本 啓	一般職員(総・人)
18.4.1		細田 修平	一般職員(教育)
18.4.1		金澤 雅	一般職員(施・整)
18.4.1		鈴木 亮	一般職員(理工)
18.4.1		齋藤 拓	一般職員(施・環)
18.4.1		長尾 沙喜子	一般職員(学術・学情)
18.4.1		石岡 勝彦	学生生活支援グループ主任(学・生)
18.4.1		渡邊 尚希	一般職員(財・財)
18.4.1		藤井 真嗣	一般職員(学術・学情)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1		渡辺 孝夫	教授(理工)
18. 4. 1		石川 善朗	助教授(教育)
18. 4. 1		櫻田 安志	助教授(教育)
18. 4. 1		西澤 道知	助教授(教育)
18. 4. 1		植田 勇人	助教授(教育)
18. 4. 1		伊藤 巧一	助教授(医・保)
18. 4. 1		鳥飼 宏之	助教授(理工)
18. 4. 1		高田 晃	助教授(農生)
18. 4. 1		渡邊 麻里子	講師(人文)
18. 4. 1		飯 考行	講師(人文)
18. 4. 1		日野 辰哉	講師(人文)
18. 4. 1		長谷河 亜希子	講師(人文)
18. 4. 1		福田 陽	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		小笠原 ゆかり	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		富田 泰史	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		菅原 典夫	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		松坂 方士	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		原田 伸彦	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		三浦 淳	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		久永 明人	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		中野 学	助手(医・保)
18. 4. 1		藤田 俊文	助手(医・保)
18. 4. 1		赤池 あらた	助手(医・保)
18. 4. 1		會津 桂子	助手(医・保)
18. 4. 1		辻 剛俊	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		神 裕道	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		池永 五月	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		目時 友美	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		二井 一則	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		清野 浩子	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		竹田 哲司	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		湯川 昌広	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1		三上 佳津江	教務職員(理工)
18. 4. 1		逢坂 修身	理学療法士(病)
18. 4. 1		小池 友和	理学療法士(病)
18. 4. 1		長島 朋子	メディカルソーシャルワーカー(病・地域連携室)
18. 4. 1		蛭沢 仁代	看護師(病)
18. 4. 1		石岡 朋子	看護師(病)
18. 4. 1		山下 沙弥子	看護師(病)
18. 4. 1		高屋敷 いくえ	看護師(病)
18. 4. 1		加藤 美亜	看護師(病)
18. 4. 1		増川 秀子	看護師(病)
18. 4. 1		東 佳奈子	看護師(病)
18. 4. 1		若松 沙季	看護師(病)
18. 4. 1		中村 恵美	看護師(病)
18. 4. 1		栗林 清子	看護師(病)
18. 4. 1		澤向 牧子	看護師(病)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1		村上 陽子	看護師(病)
18. 4. 1		岩川 博美	看護師(病)
18. 4. 1		花田 裕香	看護師(病)
18. 4. 1		村上 亜希	看護師(病)
18. 4. 1		熊倉 美穂子	看護師(病)
18. 4. 1		佐藤 真奈美	看護師(病)
18. 4. 1		石田 美香	看護師(病) [19. 3. 31まで]
18. 4. 1		浅田 鶴予	教諭(附小)
18. 4. 1		工藤 千枝	教諭(附小)
18. 4. 1		片山 博文	教諭(附中)
18. 4. 1		藤岡 久子	教諭(附中)
18. 4. 1		川守 理己	教諭(附中)
18. 4. 1		工藤 素子	教諭(附中)
18. 4. 1		竹内 誠司	教諭(附中)
18. 4. 1		藤井 明	教諭(附中)
18. 4. 1		工藤 信也	教諭(附養)
18. 4. 1		川村 肇	教諭(附養)
18. 4. 1		佐藤 忠全	教諭(附養)
18. 4. 1		淋代 香織	教諭(附養)
18. 4. 1		村田 真奈美	教諭(附養) [18. 9. 30まで]
18. 4. 7		鹿内 奈々	看護師(病) [19. 3. 31まで]
18. 4. 10		山本 亜紗美	教諭(附幼) [18. 5. 21まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1	課長補佐(財・財)	黒 滝 勲	契約管理課長(財務)
18. 4. 1	課長補佐(総・総)	坪 憲 二	留学生課長(学務)
18. 4. 1	教務グループ係長(学・教)	赤 平 貢	課長補佐(学・教)
18. 4. 1	総務グループ係長(教育)	笹 森 利 通	課長補佐(学・生)
18. 4. 1	総務グループ係長(理工)	野 呂 公 代	課長補佐(学・入)
18. 4. 1	総務グループ係長(人文)	菊 池 良 一	事務長補佐(教育)
18. 4. 1	学生生活支援グループ係長(学・生)	三 橋 洋 子	課長補佐(病・総)
18. 4. 1	企画調査係長(監査室)	北 村 正太郎	課長補佐(病・管)
18. 4. 1	教務グループ主任(学・教)	溝 江 修 一	教務グループ係長(学・教)
18. 4. 1	学生生活支援グループ主任(学・生)	澤 田 祐 子	学生生活支援グループ係長(学・生)
18. 4. 1	就職支援グループ主任(学・生)	成 田 洋 子	就職支援グループ係長(学・生)
18. 4. 1	施設企画グループ主任(施・企)	佐 藤 吉 秀	施設企画グループ係長(施・企)
18. 4. 1	医学科学務グループ主任(医)	阿 部 暁 美	保健学科グループ係長(医)
18. 4. 1	医学科総務グループ主任(医)	秋 元 弓 子	総務グループ係長(病・総)
18. 4. 1	一般職員(財・財)	小野寺 恵	総務情報グループ主任(財・財)
18. 4. 1	一般職員(施・企)	今 秀 徳	施設事務グループ主任(施・企)
18. 4. 1	一般職員(施・整)	蒔 苗 幸 夫	施設管理グループ主任(施・整)
18. 4. 1	一般職員(施・環)	會 津 利 幸	本町施設グループ主任(施・環)
18. 4. 1	一般職員(学術・学情)	佐々木 忠	総務グループ主任(人文)
18. 4. 1	一般職員(病・総)	今 寿 代	総務グループ主任(病・総)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18.4.1	一般職員(病・管)	須田 誠一	管理グループ主任(病・管)
18.4.1	一般職員(病・事)	三上 結美子	医事グループ主任(病・事)
18.4.1	一般職員(病・事)	加藤 秀紀	医療サービスグループ主任(病・事)
18.4.1	一般職員(農生)	工藤 理砂子	総務グループ主任(農生)
18.4.1	一般職員(病・管)	高松 達典	附属施設グループ主任(農生)
18.4.1	助教授(教育)	宮崎 秀一	教授(教育)
18.4.1	助教授(教育)	北原 晴男	教授(教育)
18.4.1	助教授(教育)	肥田野 豊	教授(教育)
18.4.1	講師(教育)	齋藤 和男	助教授(教育)
18.4.1	講師(教育)	田上 恭子	助教授(教育)
18.4.1	講師(医・医)	梅田 孝	助教授(医・医)
18.4.1	講師(医・医)	鈴木 保之	助教授(医・医)
18.4.1	講師(病)	石橋 恭之	助教授(医・医)
18.4.1	講師(医・保)	野戸 結花	助教授(医・保)
18.4.1	助手(医・保)	北宮 千秋	講師(医・保)
18.4.1	講師(病院)	青木 昌彦	助教授(病院)
18.4.1	助手(病院)	横山 徹	講師(病院)
18.4.1	助手(病院)	津田 英一	講師(病院)
18.4.1	助手(病院)	中村 吉秀	講師(病院)
18.4.1	看護師(病院)	石川 陽子	副看護師長(病院)
18.4.1	看護師(病院)	佐藤 葉子	副看護師長(病院)
18.4.1	看護師(病院)	久保 由佳	副看護師長(病院)
18.4.1	診療放射線技師(病院)	金 正宜	主任診療放射線技師(病院)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18.4.1	事務長(理工)	佐藤 正彦	事務長(教育)
18.4.1	契約管理課長(財務)	京野 義雄	事務長(理工)
18.4.1	課長補佐(病・総)	長内 登	課長補佐(総・総)
18.4.1	課長補佐(総・人[職員グループ])	児玉 仁	課長補佐(総・人[人事グループ])
18.4.1	事務長補佐(教育)	佐々木 輝雄	課長補佐(総・人)
18.4.1	課長補佐(病・管)	笹森 守	課長補佐(財・財)
18.4.1	課長補佐(学・入)	今 光雄	課長補佐(学・教)
18.4.1	課長補佐(学・教)	菊池 誠	課長補佐(学・生)
18.4.1	総務グループ係長(病・総)	唐牛 孝明	企画調査係長(監査室)
18.4.1	予算グループ係長(財・財)	村市 悟	総務情報グループ係長(財・財)
18.4.1	総務情報グループ係長(財・財)	浅利 清一	予算グループ係長(財・財)
18.4.1	教務グループ係長(学・教)	粕谷 常好	総務企画グループ係長(学・教)
18.4.1	総務企画グループ係長(学・教)	中村 勝之	教務グループ係長(学・教)
18.4.1	広報・支援グループ係長(総・総)	五十嵐 義之	教務グループ係長(学・教)
18.4.1	医療情報グループ係長(病・事)	竹内 誠	学生生活支援グループ係長(学・生)
18.4.1	職員グループ係長(総・人)	鳴海 一	学生生活支援グループ係長(学・生)
18.4.1	学生生活支援グループ係長(学・生)	成田 秀次	留学生支援グループ係長(学・留)
18.4.1	情報サービスグループ係長(学術・学情)	工藤 弘文	医学情報グループ係長(学術・学情)
18.4.1	職員グループ係長(総・人)	鈴木 純子	保健管理グループ係長(保セ)
18.4.1	留学生支援グループ係長(学・留)	久保田 豊治	総務グループ係長(教育)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1	附属施設グループ係長(農生)	三上初雄	附属学校グループ係長(教育)
18. 4. 1	総務グループ係長(農生)	澤田和則	総務グループ係長(病・総)
18. 4. 1	附属学校グループ係長(教育)	長内敏幸	総務グループ係長(理工)
18. 4. 1	総務グループ主任(理工)	山形浩貴	総務グループ主任(総・総)
18. 4. 1	総務グループ主任(病・総)	後藤真吾	人事グループ主任(総・人)
18. 4. 1	総務グループ主任(教育)	山田香保里	経理グループ主任(財・経)
18. 4. 1	予算グループ主任(財・財)	奈良正裕	契約管理グループ主任(財・契)
18. 4. 1	総務グループ主任(病・総)	櫻庭晋	医学科総務グループ主任(医)
18. 4. 1	医学情報グループ主任(学術・学情)	宮川順子	管理グループ主任(病・管)
18. 4. 1	管理グループ主任(病・管)	工藤公樹	調達グループ主任(病・管)
18. 4. 1	総務グループ主任(理工)	高谷徳子	医療情報グループ主任(病・事)
18. 4. 1	総務グループ主任(教育)	角田秀子	総務グループ主任(理工)
18. 4. 1	総務グループ主任(理工)	佐藤勝美	総務グループ主任(農生)
18. 4. 1	調達グループ主任(病・管)	一戸由紀子	総務グループ主任(農生)
18. 4. 1	一般職員(総・人)	伊藤譲	一般職員(総・総)
18. 4. 1	一般職員(病・管)	嘉手苺広一郎	事務職員(財・財)
18. 4. 1	一般職員(施・整)	田村貴之	事務職員(施・企)
18. 4. 1	一般職員(病・管)	三浦大成	事務職員(施・環)
18. 4. 1	一般職員(総・総)	高田実希子	事務職員(学術・研)
18. 4. 1	一般職員(財・財)	乗田優雅	事務職員(学術・学情)
18. 4. 1	一般職員(学術・学情)	小松千雪	事務職員(教育)
18. 4. 1	一般職員(農生)	熊澤祐樹	事務職員(医)
18. 4. 1	一般職員(総・総)	遠藤勝久	事務職員(病・総)
18. 4. 1	一般職員(施・環)	三戸覚	事務職員(病・管)
18. 4. 1	一般職員(財・契)	工藤政史	事務職員(病・管)
18. 4. 1	一般職員(病・事)	山崎真澄	事務職員(病・管)
18. 4. 1	一般職員(学術・学情)	関寛子	事務職員(病・管)
18. 4. 1	実験助手(医)	櫻田淑子	機械操作員(病・事)
18. 4. 1	一般職員(学術・研)	小野賢	事務職員(理工)
18. 4. 1	一般職員(医)	成田晶代	事務職員(理工)
18. 4. 1	一般職員(理工)	真壁潤	事務職員(農生)
18. 4. 1	教授(医・医)	花田勝美	医学部附属病院長(病)[22. 3. 31まで]
18. 4. 1	講師(病)	坂本十一	講師(医・医)[25. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(病)	三上達也	助手(医・医)[23. 3. 31まで]
18. 4. 1	講師(医)	玉井佳子	講師(病)[25. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医)	佐々木真吾	助手(病)[23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医・脳研)	村上千恵子	助手(病)[23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医)	吉田仁	助手(病)[23. 3. 31まで]
18. 4. 1	栄養士(附小)	西谷倫子	栄養教諭(附小)
18. 4. 1	栄養士(附養)	高谷純子	栄養教諭(附養)
18. 4. 1	臨床検査技師長(病・検)	葛西猛	臨床検査技師長(病・医療支援センター)
18. 4. 1	副臨床検査技師長(病・検)	中田伸一	副臨床検査技師長(病・医療支援センター)
18. 4. 1	副臨床検査技師長(病・検)	齊藤慶子	副臨床検査技師長(病・医療支援センター)
18. 4. 1	主任臨床検査技師(病・検)	高坂公博	主任臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	主任臨床検査技師(病・検)	斉藤順子	主任臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	主任臨床検査技師(病・検)	薦谷昭司	主任臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	主任臨床検査技師(病・検)	小島佳也	主任臨床検査技師(病・医療支援センター)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1	主任臨床検査技師(病・検)	秋元 広之	主任臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	主任臨床検査技師(病・輸)	田中 一人	主任臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	主任臨床検査技師(病・病理)	水木 恵美子	主任臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	原 悦子	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	熊谷 生子	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	三上 昭夫	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	櫛引 美穂子	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・輸)	舩 甚満	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	四釜 佳子	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	松田 絵理子	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	木村 正彦	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	井上文 緒	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	工藤 良子	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	小野 有希	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・検)	成田 優子	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・輸)	荒田 奈央子	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・病理)	赤石 友子	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	臨床検査技師(病・病理)	野崎 昭浩	臨床検査技師(病・医療支援センター)
18. 4. 1	栄養管理室長(病・事)	平野 聖治	栄養管理士長(病・栄養管理部)
18. 4. 1	栄養士(病・事)	須藤 信子	栄養士(病・栄養管理部)
18. 4. 1	栄養士(病・事)	長田 史恵	栄養士(病・栄養管理部)
18. 4. 1	栄養士(病・事)	三上 恵理	栄養士(病・栄養管理部)
18. 4. 1	看護師(病)	中村 美香	助産師(病)
18. 4. 1	助産師(病)	工藤 文子	看護師(病)

[併任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1	医学部附属病院長(病)	花田 勝美	学長特別補佐 [22. 1. 31まで]
		花田 勝美	医学部附属病院皮膚科科長(解)
18. 4. 1	教授(保セ)	佐々木 大輔	保健管理センター所長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	佐藤 三三	教育学部長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	南 條 宏肇	理工学部長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	矢島 忠夫	21世紀教育センター長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(人文)	四宮 俊之	人文学部副学部長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(人文)	清水 明	人文学部副学部長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	氏家 良博	理工学部副学部長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	森 聡明	理工学部副学部長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	齊藤 利男	教育学部副学部長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	星野 英興	教育学部副学部長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	北原 啓司	教育学部副学部長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(医・医)	奥村 謙	医学部副学部長 [19. 1. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	本間 正行	教育学部附属小学校長 [21. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	WESTERHOVEN JACOBUS NICOLAAS	教育学部附属幼稚園長 [21. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	浅野 清	生涯学習教育研究センター長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	伊藤 成治	教育学部附属教育実践総合センター長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(農生)	佐野 輝男	遺伝子実験施設長 [20. 3. 31まで]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1	助教授(農生)	澁谷 長生	農学生命科学部生物生産科学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(人文)	保田 宗良	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(医・医)	保嶋 実	学生就職支援センター長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(医・医)	棟方 昭博	医学部附属病院副病院長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	講師(病)	中村 吉秀	医学部附属病院栄養管理部長
18. 4. 1	講師(病)	玉井 佳子	医学部附属病院光学医療診療部長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	助教授(医・医)	中野 創	医学部附属病院リハビリテーション部副部長
18. 4. 1	教授(理工)	深瀬 政秋	医学部附属病院輸血部副部長
18. 4. 1	教授(理工)	佐藤 魂夫	医学部附属病院皮膚科科長
18. 4. 1	教授(理工)	中里 博	総合情報処理センター長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	小野 俊郎	理工学部附属地震火山観測所長 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	竹ヶ原 克彦	理工学部地球環境学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	伊東 俊司	理工学部数理科学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	中島 健介	理工学部数理システム科学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	大関 邦夫	理工学部知能機械工学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(農生)	神田 健策	理工学部知能機械システム工学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(農生)	宮入 一夫	理工学部物理科学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(大学院地域社会研究科)	丹野 正	理工学部物質理工学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(人文)	長谷川 成一	理工学部電子情報システム工学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(農生)	葛西 身延	理工学部電子情報工学科長 [19. 3. 31まで]
18. 4. 1	課長補佐(学術・学情)	齋藤 穂	理工学部物質創成化学科長 [19. 3. 31まで]
			農学生命科学部地域環境科学科長 [19. 3. 31まで]
			農学生命科学部応用生命工学科長 [19. 3. 31まで]
			大学院地域社会研究科長 [20. 3. 31まで]
			大学院人文社会科学部研究科副研究科長 [19. 3. 31まで]
			農学生命科学部生物機能科学科長 [19. 3. 31まで]
			情報サービスグループ係長(学術・学情) [19. 3. 31まで]

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1	助手(医・医)	目黒 玲子	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医・医)	渡邊 誠二	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医・医)	柿崎 育子	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医・医)	瀬谷 和彦	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医・医)	高橋 良博	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医・医)	山田 芳嗣	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医・医)	丹治 邦和	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(医・医)	石田 邦夫	助手(医・医) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(病)	藤田 浩史	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(病)	豊木 嘉一	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(病)	福井 淳史	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(病)	二神 真行	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(病)	漆 館 聡志	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(病)	楠 美 昭則	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	助手(病)	田 中 幹二	助手(病) [23. 3. 31まで]
18. 4. 1	看護師(病)	畑 中 聡子	看護師(病) [19. 3. 31まで]

[再任用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1		佐山卓男	再任用職員(施・環) [19. 3. 31まで]

[復職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1	総務グループ主任(農生)	齋藤由紀	育児休業より
18. 4. 1	教授(農生)	黒尾正樹	
18. 4. 1	看護師(病)	速水りか子	育児休業より
18. 4. 1	看護師(病)	高田直美	育児休業より
18. 4. 1	看護師(病)	木村充美	育児休業より
18. 4. 1	教諭(附中)	戸澤裕香子	育児休業より
18. 4. 1	教諭(附養)	川村優子	育児休業より

[任命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1		三浦康久	理事(社会連携・情報担当) [20. 3. 31まで] 教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	附属病院長(病)	花田勝美	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(農生)	神田健策	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(人文)	藤田正一	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	総務部長(総務)	渡邊春重	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	財務部長(財務)	及川洋輝	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1		石戸谷忻一	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1		岡井眞	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1		小田切達	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1		櫛引利貞	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1		武田隆一	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1		秋田幸男	経営協議会委員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	佐藤三三	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	南條宏肇	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(大学院地域社会研究科)	丹野正	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	矢島忠夫	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(人文)	四宮俊之	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(教育)	齊藤利男	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(医・医)	正村和彦	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(医・医)	木田和幸	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	宮田寛	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(農生)	荒川修	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(医・医)	保嶋実	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(保七)	佐々木大輔	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	教授(理工)	真下正夫	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	部長(学務)	吉田平	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	部長(施設)	市川三男	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]
18. 4. 1	部長(学術)	諏訪田義美	教育研究評議会評議員 [20. 3. 31まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 7	看護師(病院)	伊東 美恵子	19. 3. 31まで

[退職・辞職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 4. 1	理事	久 慈 一 英	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	事務職員(農生)	花 田 理 加	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	助手(病院)	水 谷 英 之	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	看護師(病院)	蛭 沢 仁 代	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	看護師(病院)	石 岡 朋 子	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	看護師(病院)	山 下 沙 弥 子	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	看護師(病院)	石 田 美 香	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	看護師(病院)	高屋敷 いくえ	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	看護師(病院)	加 藤 美 亜	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	教諭(附中)	三 上 理 恵	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	教諭(附養)	村 田 真 奈 美	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 1	教諭(附養)	島 川 沙 織	退職 [平成18. 3. 31限り任期満了]
18. 4. 30	助手(病)	遠 野 千 佳 子	辞職
18. 4. 30	助手(病)	田 茂 和 歌 子	辞職

■ 主要日誌

- 4月3日 役員会
- 4日 平成18年度弘前大学入学式
平成18年度弘前大学大学院入学式
- 7日 学長オフィスアワー
- 10日 役員会
- 11日 運営会議
教育研究評議会
- 17日 役員会
- 18日 21世紀教育FD・広報専門委員会
- 20日 学長オフィスアワー
- 24日 役員会
- 25日 21世紀教育教務専門委員会
- 27日 21世紀教育センター運営委員会

■ 学内規則

(平成18年3月27日制定)

○ 国立大学法人弘前大学公益通報処理規程

(平成18年3月20日改正)

○ 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正

運営会議の「その他学部長が指名する職員」としての委員である医学部附属病院長を職名指定の委員とするため、この規則の一部を改正した。

○ 弘前大学学則の一部改正

理工学部と八戸工業高等専門学校との間における相互履修に関する協定の締結に伴い、特別聴講学生の入学に関して所要の改正を行うため、この規則の一部を改正した。

○ 弘前大学人文学部規程の一部改正

教育職員免許状の取得にかかる教職に関する科目の見直しに伴い、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学教育学部規程の一部改正

卒業研究題目届を廃止するため、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学医学部規程の一部改正

保健学科における教育職員免許状の取得にかかる教職に関する科目の見直しに伴い、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学医学部教授会規程の一部改正

附属病院長の専任化に伴い、教授会の組織に附属病院長を追加するため、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学大学院医学系研究科規程の一部改正

個別に規定していた附属教育研究施設等を包括的に規定するため、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学理工学部規程の一部改正

理工学部と八戸工業高等専門学校との間における相互履修に関する協定の締結に伴い、特別聴講学生の入学に関して所要の改正を行うため、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学農学生命科学部規程の一部改正

21世紀教育のカリキュラムの見直し、及び専門教育科目を充実するため、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学大学院地域社会研究科規程の一部改正

地域社会研究科のカリキュラムを充実するため、この規程の一部を改正した。

○ 国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程の一部改正

独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令（平成14年政令第199号）の一部改正により、情報公開にかかる開示の実施方法を定める必要があることから、この規程の一部を改正した。

○ 国立大学法人弘前大学保有個人情報開示等手続規程の一部改正

独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律施行令（平成15年政令第549号）の一部改正により、保有個人情報の開示の実施方法を定める必要があることから、この規程の一部を改正した。

○ 国立大学法人弘前大学放射線安全管理規程の一部改正

以下の理由によりこの規程の一部を改正した。

- ①放射線障害防止法の改正に伴い、条文の整理及び字句を修正するため。
- ②放射線安全管理委員会の組織を整理するため。

-
- **弘前大学医学部長候補者選考規程の一部改正**
以下の理由によりこの規程の一部を改正した。
 - ①附属病院長の専任化に伴い、選挙資格者に附属病院長を追加するため。
 - ②個別に規定していた附属教育研究施設等を包括的に規定するため。(附属高度先進医学研究センターの追加)
 - **弘前大学医学部教員選考規程の一部改正**
個別に規定していた附属教育研究施設等を包括的に規定するため、この規程の一部を改正した。(附属高度先進医学研究センターの追加)
 - **弘前大学医学部附属病院規程の一部改正**
以下の理由によりこの規程の一部を改正した。
 - ①中央診療施設等の組織を再編するため。
 - ②条文の整理及び字句を修正するため。
 - **弘前大学農学生命科学部放射性同位元素実験室放射線障害予防規程の一部改正**
放射線障害防止法の改正に伴い、規程名称の変更、条文の整理及び字句を修正するため、この規程の一部を改正した。
 - **弘前大学遺伝子実験施設放射線障害予防規程の一部改正**
放射線障害防止法の改正に伴い、規程の名称、条文の整理及び字句を修正するため、この規程の一部を改正した。
 - **弘前大学アイソトープ総合実験室放射線障害予防規程の一部改正**
放射線障害防止法の改正に伴い、規程名称の変更、条文の整理及び字句を修正するため、この規程の一部を改正した。

(平成18年3月27日改正)

- **国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正**
以下の理由によりこの規程の一部を改正した。
 - ①栄養教諭制度の創設に伴い、附属学校に栄養教諭を配置するため。
 - ②理事の業務分担の変更に伴い、実務委員会の名称及び組織を変更するため。
 - **国立大学法人弘前大学職員就業規則の一部改正**
以下の理由によりこの規程の一部を改正した。
 - ①附属学校に栄養教諭を配置するため。
 - ②高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正に伴い、高齢者雇用確保措置を講ずるため。
 - **国立大学法人弘前大学契約職員就業規則の一部改正**
高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正に伴い、高齢者雇用確保措置を講ずるため、この規程の一部を改正した。
 - **国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正**
本学の職員に対する俸給月額、初任給調整手当、扶養手当、勤勉手当、俸給の特別調整額及び昇給の制度の改定、職務付加手当の新設並びに新たに設けられた栄養教諭に対応するため、この規程の一部を改正した。
 - **国立大学法人弘前大学役員給与規程の一部改正**
本学の役員に対する俸給月額の改正及び期末特別手当の新設を行うため、この規程の一部を改正した。
 - **国立大学法人弘前大学契約職員等給与規程の一部改正**
本学の契約職員に対する日給及び時間給の改定を行うため、この規程の一部を改正した。
 - **国立大学法人弘前大学職員退職手当規程の一部改正**
本学の職員に対する退職手当に関する規程を整備するため、この規程の一部を改正した。
 - **国立大学法人弘前大学役員退職手当規程の一部改正**
本学の役員に対する退職手当に関する規定を整備するため、この規程の一部を改正した。
-

-
- **弘前大学名誉教授称号授与規程の一部改正**
医学部附属病院長の専任化に伴い、同病院長として勤務した年数を教授として勤務した年数に含めることとするため、この規程の一部を改正した。
 - **国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程の一部改正**
以下の理由によりこの規程の一部を改正した。
 - ① 附属学校に栄養教諭を配置するため。
 - ② 附属養護学校教員の勤務様態の特殊性に鑑み、同教員の休憩時間を変更するため。
 - ③ 農学生命科学部附属生物共生教育研究センター農場に勤務する職員の勤務体制を変更するため。
 - **国立大学法人弘前大学旅費規程の一部改正**
国立大学法人弘前大学職員給与規程が改正され、職員の職務の級が切替えられたことに伴い、所要の整備を行うため、この規程の一部を改正した。
 - **国立大学法人弘前大学業務災害補償規程の一部改正**
国立大学法人総合損害保険の労働災害総合保険特約の改定に伴い、本学における障害補償額を改めるため、この規程の一部を改正した。
- 附属学校に栄養教諭を配置することに伴い、次の規程等の一部を改正した。
- **国立大学法人弘前大学教員の資格、任免、分限及び懲戒に関する規程**
 - **国立大学法人弘前大学職員勤務評定実施規程**
 - **国立大学法人弘前大学大学院修学休業規程**
 - **国立大学法人弘前大学職員の区分、種類及び職名に関する細則**
 - **国立大学法人弘前大学期末手当、勤勉手当及び期末特別手当支給細則の一部改正**
本学の職員に対する勤勉手当の成績率を改定するため、この細則の一部を改正した。
 - **国立大学法人弘前大学外国人教師の契約手続等細則の一部改正**
本学の外国人教師の給与月額を改定するため、この細則の一部を改正した。
-

訃報

本学名誉教授 武田 穰壽 氏には、平成18年4月13日
午前6時48分御逝去されました。
享年 79歳
ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

弘前大学学報第25号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172)36-2111